

平成23年度教育委員会事務点検評価(平成22年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

整理番号 7

事務事業の名称	公民館改修整備事業		担当部課	教育委員会 生涯学習部 中央公民館		
			電話番号	04 - 2952 - 2230		
実施期間	平成 16 年度 ~					
総合振興計画における位置づけ	5章	人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H22~24)事業名	公民館改修整備事業		
	1節	生涯学習の振興				
	1項	生涯学習の推進	個別計画等の名称			
	2目	生涯学習の機会や場の拡充				
実施根拠						
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 法定受託事務+自治事務					
事業開始の背景等	昭和43年建設の中央公民館をはじめ、昭和40年代に建設された公民館が7館あり、老朽化が進んでいることから、改修整備を計画的に行うことが必要とされている。					

2 事務事業の目的・内容

目的	公民館施設の維持と、利用者の安全や利便性を確保するため。	
対象	各公民館施設	
活動内容	公共建築物改修計画に基づき、計画的に、屋上防水、外壁改修、給排水改修、耐震補強等を行っている。平成22年度は、水野公民館の屋上防水工事及び屋上冷却塔移設工事を実施した。	
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	
	継続	
環境配慮		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他( )	

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値の根拠・考え方
(実施動向指標)	改修件数	目標値	件	1	1	1	3	総合振興計画実施計画
		実績値		1	1	1		
		達成率		100.0%	100.0%	100.0%		
		目標値						
		実績値						
		達成率						
(成果指標)		目標値						
		実績値						
		達成率						
		目標値						
		実績値						
		達成率						

4 事業費

区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度		
	経費	千円	10,000	10,000	14,640	71,799	
直接費	予算額	千円	4,423	7,035	11,645		
	決算額	千円					
	財源内訳	国県支出金	千円				
		その他特定財源	千円				11,585
		一般財源	千円	4,423	7,035		60
	人件費	従事職員数	人	0.04	0.04		0.04
人件費(従事職員数×平均給与)		千円	367	368	360		
事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	4,790	7,403	12,005		
効率性指標	指標名				※		
	単位コスト				1単位当たりの経費		

5 事務事業の評価

◆第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	5 前年度 5	昭和40年代に建てられた公民館が多く、老朽化が進んでいる。公民館は各地区の中核施設であり防災拠点でもあることから、施設の維持や安全確保を図るため計画的に改修整備を実施する必要がある。
	有効性	4 前年度 5	公民館改修整備事業は、施設の維持、安全確保を図る上で有効性が高い。
	効率性	4 前年度 4	施工業者の選定は競争入札で行われている。また、建築審査課及び検査課と連携を取り、コスト効率の向上や執行体制の効率化を図っている。
<5段階評価> 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い			
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了		
今後の方向性	今後も計画的に改修工事を進める。なお、昭和40年代に建てられた館はますます老朽化していくことから、改修だけでなく、更新に関わる今後の方針の明確化が必要である。		

6 その他(学識経験者の意見等)

重要な事業と思われる。第1次評価に見られるように、これからの公民館活動のあり方を検討しつつ、計画的に進めることが求められていると思う。予測される関東直下型地震、東海・東南海地震等に対する備えと共に、気候変動による自然災害の多発にも配慮した安全面への配慮は万全か、その視点も重要であろう。また、超高齢社会を迎え、高齢者の施設利用に対する配慮に怠りはないかの視点も不可欠だ。概ね、障害を持つ人々への配慮、バリアフリー化で、事足りると思われるが、手ばかりがないことを望みたい。